

線材製品(建材)

Wire Rod



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製鉄所

主な規格：SS400、SWRM8、SD295、SWRS82B

形状：線材コイル

主要サイズ（単位mm）

線材：φ3.6～φ22.0

D4～D19

問い合わせ先

日本製鉄株式会社

棒線技術部 棒線技術室

TEL：03-6867-6385

<https://www.nipponsteel.com/>

登録番号	JR-AJ-21009E-A
適用PCR番号	PA-180000-AJ-06
PCR名	建設用鉄鋼製品（中間財）
公開日	2022年1月21日
検証合格日	2024年1月16日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AJ-24013
検証有効期間	2029年1月15日

PCRレビューの実施	
認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 (千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 井上 晋一

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
の独立した検証

内部

外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響※1	製造のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	1200	2400	kg-CO ₂ eq
酸性化	-0.40	1.5	kg-SO ₂ eq
富栄養化	-0.0055	0.017	kg-PO ₄ ³⁻ eq

※1: A1~A3およびDの合計 ※2: A1~A3の合計

内訳	項目	単位	[A1] ~ [A3] 合計	[A1] 原材料調達	[A2] 原材料の輸送	[A3] 製品の製造	[D] 間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	2.4E+03	4.5E+02	1.3E+02	1.8E+03	-1.2E+03	
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.4E-07	1.2E-07	8.3E-10	1.9E-08	-2.3E-07	
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.5E+00	4.2E-01	6.7E-02	1.0E+00	-1.9E+00	
光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	1.4E-02	4.3E-03	1.1E-03	8.3E-03	-2.7E-01	
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.7E-02	1.1E-05	7.5E-13	1.7E-02	-2.3E-02	

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	7.5E+02 kg
再生可能資源	1.1E+03 kg
非再生可能エネルギー	2.6E+04 MJ
再生可能エネルギー	-6.7E+02 MJ
淡水の消費	5.7E+02 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
鉄 [Fe]	≥95.0 %
炭素 [C]	≤1.10 %
ケイ素 [Si]	≤3.00 %
マンガン [Mn]	≤3.00 %
リン [P]	≤0.050 %
硫黄 [S]	≤0.050 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	1.6E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

- ①間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、本宣言上①ライフサイクル影響評価結果内訳表上の【D】間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】～【A3】の合計値に加算される。計算に使用したリサイクル率は93.0%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）
- ②輸送シナリオはPCRに従った。
- ③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。
- ④一次データは、2018年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力, 一般電気事業者10社平均, 2014年度」を使用し

⑥-1. その他の環境関連情報

- ①ISO14001認定工場で生産している。
- ②代表的なエコプロダクツ（環境配慮製品）として、橋梁ケーブル用線材、送電線・配電支持線用線材などがある。
日本製鉄製品カタログ 棒鋼・線材 P7
https://www.nipponsteel.com/product/catalog_download/pdf/B001.pdf
橋梁ケーブル用線材は、環境負荷低減型超ハイテン橋梁ケーブルとしての各賞の受賞実績がある。
https://www.nipponsteel.com/product/catalog_download/pdf/B103.pdf

⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位（スクラップ LCI）は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

変更日：2025年1月6日 エコリーフマークからSuMPO EPDマークに変更。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)